



総合所見

挨拶はコミュニケーションの基本であり、人間関係を円滑に豊かにするための手段です。先生も保護者の皆様にも手本となるような気持ちの良い挨拶を心掛けてもらいました。

「あいさつから始まる、共に育ち合う仲間づくり」を今年度も目標に掲げ、日常生活の中で様々な挨拶を知り、繰り返しの中で子どもたちに定着しつつあるようです。

本園の保育の全体像である教育課程について、1学期に検討会を数回持ち6月に改訂しました。

「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5つの領域ごとに内容を設定したことにより、発達の過程に応じた保育と子どもの育ちに、より見通しを持って保育に取り組めるようになりました。そして、そこから見える評価と課題について職員一同研鑽し保育に努めてまいりたいと思います。

本園の教育の特色であるさまざまな交流により、温かな心の育ちを感じます。出会いの時の挨拶、交流の中での遊びや体験を通しての発見や気づきが、子どもたちの内面を育てているように思います。

尚徳中学校区は今年度、主題「豊かな人間関係を築き、主体的に学び合い高め合う子どもの育成～連携を重視した魅力ある学校づくりをめざして～」をもとに研究を進めるなかで、校区の保幼小中そして地域の教育的な繋がりを感じました。

年長組は、地域の小学校・保育園との交流を毎年行っています。秋には五千石保育園の年長さんと五千石小学校の校庭で出会い、一緒に遊び、共に就学する仲間としてとても良い交流をしました。内容は、子どもたちからの発言や思いを実現したものとなり、教育局の指導主事さんより称賛されています。また、それぞれの学年で祖父母交流、地域の方々との交流、デイケアのお年寄りとの交流、北高サッカー部・家庭科交流などなど、定着した交流の進め方（内容）も子どもの育てたい側面を考えた取り組みにしていくことが大切であると考えます。これまで築き上げた地域の方々との繋がりを大切に、幼稚園、家庭だけではなく、地域の方々にも本園の教育力となっただくことで温かい心の育ちにつながっています。

もう一つの特色である幼稚園内外の豊かな自然を活用した保育が、「体力の向上」「感性」「探究心」「集中力」「自ら考える力」を育成するとして幾つかの調査を経て今年度から「とっとり自然保育認証園」となりました。併せて、安全対策マニュアルも再検討しました。

年齢に応じた園外保育を計画、園内の環境を生かした自然（動植物）との触れ合い、栽培、地域の方と連携した栽培や収穫など、自然の美しさ不思議さに心を動かされ、子どもたちが主体となった取り組みは、豊かな心の育ちにつながっています。

幼稚園で子どもたちを預かるうえで、危機管理は怠ってはならない大切な業務であります。年間計画に基づき避難訓練を計画的に進め、本年度は、Jアラート（全国瞬時警報システム）の訓練放送時にも対応しました。

園児引き渡し訓練においては、引き取り者の方を明確にして確実に園からの情報を受け取ってもらえるよう確認を重ね、態勢を整え訓練を実施しました。保護者の方々にはご協力いただきありがとうございます。

東みずほ幼稚園は一人ひとりの子どもたちが安心して笑顔で遊びきれるよう、

- ① 子ども心に寄り添うことで、園が安心した居場所となる。
- ② 教師間の共通理解を深め、子どもたちの育ちを保障する。
- ③ さまざまな人とのかかわりを通しての心の育ちを大切にする。
- ④ 安心して思いを言える空間や仲間作りを大切にする。 以上の点に留意しながら

子どもたちの姿や背景を考えて、その子の何を育てたいのか目標を持って教育をしてまいります。